

平成30年度 「世界の人たれ」 講演会

下記のとおり世界の人たれ講演会を実施しました。

記

1 講演概要

- (1) 日時会場 3月20日(水) 5, 6限(13:15~15:05) 第一体育館
- (2) 対象 1, 2年生、及び保護者
- (3) 講師 毛利 信二 氏(松江北高等学校理数科第6期)
前 国土交通事務次官 現 三井住友信託銀行顧問
- (4) 演題 『北高生に期待する』



講演会の様子

2 生徒の感想（抜粋）

- 国土交通省に関しては、正直ほとんどイメージがついていなくて、道路のことに関わっているところかな、と勝手に思っていました。あんなに広くたくさんの方に携わっておられるとは思ってもみなかったし、中央省庁の方々書類を前に仕事しておられるという印象があったので、“現場”を大切にしているというお話に驚きました。自分の国を回しているところなのに、何にも知らなかったな、と気づき、もっとお話を聞いてみたくくなりました。
- 「国民の声は『気配以上、会話未満』で難しい」という表現は新鮮だったけれどすごく納得できて、心に残りました。
- 「人の役に立つ仕事」という言葉は、よく聞くはずなのに、なぜか心に響きました。早く“今日の希望となる”何かを見つけられるように、1年間楽しみつつ頑張りたいです。
- 事務次官をされていたときは特に全国で起こっている災害などに対して迅速に対応することを求められていたということを知り、やはり上の立場になると、判断力が必要になってくるんだなと思いました。
- 最後の「昨日の夢は今日の希望になる」というお言葉を聞いて、私も今持っている夢に向けて、この1年一生懸命頑張ろうと思いました。
- 私が最も心に残ったことは、先生が最後におっしゃった「学ぶことの価値」についてのお話です。今日の講演会では、先生のこれまでの経歴や学生時代、そこから学ぶ教訓などをたくさんお話していただきました。先生のように成功したことも失敗したこともすべて含めて、それらに価値を見いだして生きていけるような人になりたいと思いました。
- 印象に残ったことは友人・知人のネットワークです。友人のしている事や価値観を知っていくことで自分の人生が豊かになるということだったので、私も今の友達を今だけでなくこれからもずっと仲良く、大切にしてお互いにより刺激をしあっていきたいと思いました。
- すごい方が私たち北高の先輩であることに「北高生ってこんな風にもなれるんだ」と感動しました。
- 京都の街並みのことを聞いて、島根にも当てはまる問題だなと思いました。島根は宝石の原石のように磨けば光るところだと思うので、私はその光を見つけ出せるような大人になりたいです。